

第2学年 道徳科学習指導案

令和7年2月8日（土）2校時

1 主題名 「友達っていいな」B-（9）友情、信頼

2 ねらいと教材

- （1）ねらい 横取りしたぶらんこの綱が切れて泣くくまと、くまを慰めながら丈夫なぶらんこを作ろうとする動物たちの交流などを通して、友達と仲よくすることについて考えさせ、友達の気持ちを考え、仲よく助け合おうとする心情を育てる。

- （2）教材 「ぶらんこ」（どうとく2 きみがいちばんひかるとき 光村図書出版）

3 学習指導過程

	学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 □評価の視点（評価方法）
導入	1 友達との関わりについて振り返る ○今日、友達とどんなことをしましたか。 ・休み時間に、鬼ごっこをしたよ。 ・いっしょに給食を食べたよ。 ・ちょっとけんかをしちゃった。	・自分のこととして学習に向かえるよう、自分と友達との関わりについて振り返らせる。いつも仲よく過ごせるわけではなく、うまくいかないときもあることを押さえ、課題意識をもって学習に取り組めるようにする。
展開	2 教材「ぶらんこ」を読んで、話し合う。 ○ぶらんこを独り占めしたくまさんを見て、おさるさん、うさぎさん、りすさんは、どんなことを思ったでしょう。 ・せっかく作ったぶらんこが壊れたのは、くまさんのせいだ ・自分勝手なくまさんと遊ぶのは嫌だな。 ◎おさるさんは、どうして「もっとじょうぶなぶらんこを作ろう。」と言ったのでしょうか。 ・〈自分の思い〉 みんなで遊べたほうが楽しいと思ったから。 ・〈くまに対する思い〉 泣いているくまさんを慰めたかったから。 ・〈みんなに対する思い〉 きっとみんなも、またぶらんこで遊べたらいいと思っているだろうから。 ・〈価値に関わる思い〉 くまさんは友達だから、友達と一緒に遊べるようにしたいから。 ・〈価値に関わる思い〉 壊れたぶらんこは、みんなで力を合わせて、もっと丈夫なものに作り直せばいいと思ったから。 3 これまでの自分の生活を振り返る。 ○友達がいて「うれしいな。」「よかったな。」と思うのは、どんなときですか。 ・友達と楽しく遊べたとき。 ・困っていたら助けてくれたとき。	・ぶらんこを作って楽しく遊んでいたさるたちの、くまに対する批判的な気持ちを捉えさせる。 ・友達と仲よくするためには、友達の気持ちを考えることが大切なことに気付けるようにする。 ・くまに対して批判的な気持ちがあってもかかわらず、くまも一緒に遊べるように提案したさに着目できるようにする。 ・みんなと仲よく遊びたかったくまの気持ちに気付けるようにする。 ・友達みんなで仲よくすることのよさや楽しさ、助け合うことの大切さが考えられるようにする。 □友達の気持ちを考え、仲よく助け合おうとすることの大切さについて考えを深めている。（記述、発言）
終末	4 友情、信頼の大切さに関する説話を聞く。	・ねらいとする道徳的価値について、感じ方や考え方を深められるようにする。